

## 題名：横浜労災病院で原発性アルドステロン症と診断された患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	原発性アルドステロン症の手術治療による治療効果および治療合併症に関する調査 ( 2024-52 )
当院の研究責任者 (所属)	中井 一貴 (内分泌・糖尿病センター)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	原発性アルドステロン症は二次性高血圧の主要な原因疾患のひとつですが、その手術治療における治療効果や治療合併症については、いまだ十分に解明できていない部分も多くあります。原発性アルドステロン症の精査・治療実績の多い当院において、集積された診療データの解析を行い、診断結果等と紐づけた手術治療効果の評価や手術治療合併症についての調査を行うことが本研究の目的です。手術治療効果と関連する指標を同定することや、手術治療合併症に関わる因子を解明することで、個々の患者により適した治療を提供できるようになると考えられます。
研究の方法 (利用する試料・情報)	<b>【研究の対象】</b> 2007年以降に当院内分泌・糖尿病センターに入院した患者さんのうち、原発性アルドステロン症が疑われ診断や検査を受けている患者さん。 <b>【研究の方法】</b> この研究は、上記の期間に当院内分泌・糖尿病センターに入院または外来を受診された患者さんの病名、身体データ、血液・尿検査データなどを参照させて頂き、解析するものです。そのため、皆様に改めて検査や問診をお願いすることはございません。電子カルテなどから下記のデータなどを収集し、原発性アルドステロン症に関する各種機能確認検査や副腎静脈サンプリングによる診断結果に基づき実施された手術治療による術後の変化として、生化学的評価、臨床的評価、合併症変化についての追跡調査、および、手術治療自体による合併症（副腎皮質機能の変化等）についての追跡調査、手術治療を受けなかった患者さんとの比較を行います。下記の情報は当院の研究者以外は利用しません。

	<p>【研究に利用する情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険病名、入院期間、手術情報</li> <li>・年齢、性別、身長、体重、高血圧罹病期間、血圧、内服薬</li> <li>・血液・尿検査のデータ(腎機能、血清カリウム、血清コルチゾール、レニン活性、血漿アルドステロン濃度、副腎静脈サンプリングの結果、各種内分泌負荷試験の結果、動脈硬化評価としての心臓超音波検査や脈波図検査の結果など)</li> </ul> <p>研究実施期間：2025年4月～2030年3月</p>
利用する試料・情報の 該当期間	2007年1月～2025年3月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関に提供する予定はありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	<p>電話：045-474-8111(代表)</p> <p>メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp</p> <p>担当者：中井 一貴 (所属：内分泌・糖尿病センター)</p>
備考	